

看護師のタマゴが未来を選び取るストーリー

いかり  
錨を上げて、未知なる看護の世界へ

松村さん、中武さん、岩堀さんは、横浜市立大学で看護を学び、苦楽を共にしてきた仲間だ。座学や実習に加えて就職活動にも全力で挑み、夢をつかみとった彼女たち。濃密だったこれまでの学生生活を振り返りつつ、これから歩いていく看護の道について語り合ってもらった。

Text: Hitomi Nakazawa(Knowledge Ring) Photo: Takafumi Komatsu



## 看護の仕事のハードさを体感！ 困難を乗り越えた実習では涙も

**Q** 最初に、皆さんが看護師をめざしたきっかけを教えてください。  
**松村** 私が小学生のとき、祖母が骨折で入院したのですが、手術後には「フォークとスプーンを持つのが最終目標」と言われるような状態でした。そうしたとき、祖母に一生懸命寄り添ってくれる看護師さんがいて、「こんな人になりたい」と感動したことを覚えています。その方のケアもあって祖母は順調に回復し、今でも元気で。また、テレビを通して見た、東日本大震災の被災地で奮闘する看護師さんの姿にも大きな影響を受けました。

と思いました。そうした役割を医療現場でしているのは誰かと考えたとき、看護師が浮かんだのです。  
**中武** 私は、高校に入学した当初は医学部をめざしていました。しかし、高校2年生のときに入院する機会があり、より患者さんと身近に接する看護の仕事に魅力を感じるようになりました。そのときは歯科の手術を受けたので、ワイヤーで上下の歯を縛られ、話すこともできなかつたのですが、こまめに様子をみてきてくれたり、状況に合わせて声かけてくれたりする看護師さんのプロフェッショナルな姿に、心動かされたことを覚えています。

## 「有事に強い看護師」として、 被災地でも活躍したい

松村

**Q** 実際に看護の勉強を始めて、どんなことを感じましたか？  
**岩堀** 看護の勉強は人体の構造を知ることから始まりますが、膨大な情報を頭に入れようとするだけで精いっぱい。最初のころは「ただただ暗記」という毎日でした。当校では1年次から短時間の実習

があるので、早くから現場に立てたことは勉強になりました。  
**松村** 看護の仕事は「患者さんとゆっくりお話ししながら丁寧にケアする」イメージだったのですが、想像をはるかに超える忙しさに驚きました。患者さんの声を傾聴しつつも業務を回すため、看護師さんの移動は「走らず、しかし可能な限り速く！」でした。  
**中武** 実習前に「看護師さんを見失わないでね！」と先生から注意されていたのですが、その意味が現場に入ってから分かってきました。シャドーイングする看護師さんのスピードが尋常でなく、とにかく圧倒されていました。

**Q** 実際に看護の勉強を始めて、どんなことを感じましたか？  
**松村** 2年生以降に看護計画を立てて臨む実習も、想定外のことが多くて……。例えば、血液内科に入院中の働き盛りの男性患者さんを担当したのですが、ちょうど私の父親くらいの年齢で、どうコミュニケーションすればいいかわからず、試行錯誤の毎日でした。患者さん自身もあまり干渉してほしくない様子でしたが、ケアのためにも勉強のためにも質問すべきことが多く、まずはそこに難しさを感じました。

は話が合わないだろうな……」と気後れしてしまい、気まずい雰囲気になってしまいました。しかし、毎朝のバイタルサイン測定を通して少しずつ話す時間が増えていき、実習最終日には「あなたが看護師さんになったら、また看てもらいたいわ」と言っていただけ、涙をこらえるのが大変でした。  
**中武** 糖尿病の患者さんを受け持ったとき、「正常な血糖値の範囲は分かりますよね？」というように相手に知識がある前提で話してしまい、会話がうまくいかなかった経験があります。先入観を持たず、相手に寄り添った関わりが必要だと気付かされました。そうした失敗を経て迎えた精神科の実習では、必要な情報は収集しつつも雑談で盛り上がるなど、バランス良く関わられるようになっていきました。その患者さんから「たくさん話を聞いてくれてありがとう。本当にうれしかった」という言葉をいただいたとき、あらためて看護の仕事に頑張ろうと思えました。

## コロナ禍で 混乱もあつた就職活動 早めの動き出しが成功のカギ

**Q** 新型コロナウイルス感染症が就職活動にも大きく影響したと思いますが、皆さんの就職活動はどうでしたか？  
**中武** 大学の就学資金制度を利用

地方自治体(行政保健師)内定

岩堀美咲

いわほり・みさき

●横浜市立大学  
医学部 看護学科



男子バスケットボール部のマネージャーを務めるほか、個別指導塾の講師として中学生中心に指導するなど、人をサポートするのが得意。

総合病院(神奈川県)内定

中武佑香

なかつけ・ゆか

●横浜市立大学  
医学部 看護学科



5歳から始めた水泳は大学の部活動でも継続。アルバイトもスポーツクラブのインストラクターも受付で、身体を動かすことが大好き。

総合病院(東京都)内定

松村百夏

まつむら・ももか

●横浜市立大学  
医学部 看護学科



フットサル部に所属するほか、居酒屋やカフェのアルバイトで接客業も経験。趣味は旅行で、これまでに国内外をあちこち旅してきた。



## “急性期医療を学び、緊張感ある現場で活躍したい”

中武

のやり取りを通して素晴らしい病院であることが伝わってきましたし、先輩方と一緒に働けるという安心感も大きかったですね。

「想定外」に動揺したときもそれまでの努力が心を支えてくれた

Q 採用試験に対しては、どんな準備を行いましたか？

岩堀 保健師の公務員試験では、筆記による教養・専門試験、小論文、面接があるため、3年生の1月には試験対策を開始しました。教養試験では高校時代に学んだような数学や英語、生物などの知識も問われるため、当時の教科書を引っ張り出してきたり勉強し、過去問もやり込みました。専門試験は、保健師国家試験の問題を解くことが何よりの対策です。小論文にはそれなりの自信はありましたが、最新の時事トピックスをチェックすることは意識しました。

松村 3年生の2月にはエントリーシートを作成し、大学の先生に添削してもらいました。提出後は、すぐに筆記試験と面接の対策を始め、私の思いを余すことなく伝えられるように練習を重ねました。大学の先生には面接の練習もお願いし、マナー面も含めて指導してもらいました。また、それまで小論文を書いたことがなかったので、教材を入手してコツを押さえることもしました。

が、4年生の6月初旬に第一志望先の内定を得ることができました。岩堀 東京の特別区で働く保健師のOGとお話したことをきっかけに、保健師になることを本格的に考え始めました。悩んだのは、新卒で保健師になりたいのか、病院を経験してからにするのか、という点です。ただ、大学の地域看護ゼミで「地域活動の在り方」について学ぶなどするうちに興味が強まっていき、新卒での挑戦を決定しました。ところが自治体実施のセミナーなどが軒並み中止になり、試験日程もずれ込んでいくという事態に……。気持ちを奮い立たせながら勉強を続け、4年生の8月にある自治体から、12月にもう一つの自治体から内定をいただきました。

Q 数多くの職場がある中で、内定先を選んだ決め手はどんなところでしたか？

松村 私は「被災地でも活躍できる看護師」をめざしたかったので、災害医療に強い病院を探していました。インターンシップに参加した病院も、すべて三次救急指定病

したこともあり、附属病院へ入職することは早くから決めていました。3年生になって大学の先生と面談し、複数ある附属病院のどこを志望するのか、どんな領域で活躍したいのか、考えを深めていきました。8月の説明会を経て、年明けにはインターンシップにも参加するつもりでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止に……。代わりに先輩からの情報収集に奔走しました。その後、4年生の6月に採用試験があり、7月には内定をいただきました。

松村 地元（神奈川県横須賀市）を飛び出してみたいと思い、東京の病院で働くことを考えました。そこで、2年生の冬から3年生の春にかけて、都内の病院が集まる合同説明会に参加。志望先を絞り込んで3年生の7〜8月に3つの病院のインターンシップに参加しましたが、冬に予定していたプログラムは中止が相次ぎました。想定より少ない判断材料から何とか第一志望先を決め、3月にエントリー。採用プロセスもコロナの影響で後ろ倒しになっていきました

” 地域で絆を深め、住民の健康を守る保健師に “

岩堀

**中武** 附属病院ということもあり、過去の面接での質問内容などが資料としてまとめられていて、対策は立てやすかったです。大学の先生に確認・添削してもらったエントリーシートを元にして回答を準備しました。また、1分間の自己アピールを求められるケースもあると聞き、友人と交互に披露して内容をチェックし合いました。

**Q** 見事に第一志望先からの内定を得た皆さんですが、面接に関して印象に残っていることはありますか？

**中武** 30分くらいかけてじっくりと話すタイプの面接で、想像よりもずっと和やかな雰囲気でした。エントリーシートの内容に沿った質問が多かったですが、記載しなかったアルバイトの話なども突っ込まれました。同じ病院を受けた友人に確認したところ、面接官によつてかなり質問内容に差があったようです。

**松村** 私の場合は、エントリーシートの内容とは別のことを中心に聞かれて、「これまでで一番悔

しかった経験は？」など想定外の質問にドギマギしてしまいました。時間は15分程度で長くはありませんでしたが、かなり緊張感のある面接でした。振り返ってみると、準備していなかった質問に即答できなくても、オドオドしないことが大切ですね。もっと自信のある態度で挑めたらよかったです。

**岩堀** 私も、興味がある分野は高齢者福祉とエントリーシートに書いていたのに、面接では母子保健のことばかり聞かれて焦りました。また、コロナ対策として「会場では私語厳禁」「面接開始時のあいさつなし」など、例年とは流れが違う部分も多く、調子をつかみづらかったです。必ずしも想定通りにはいかないことを覚悟して当日に臨むことが大切だと思います。

果てしなく続く道を前に力強く一歩を踏み出す

**Q** これから就職活動に臨む後輩たちへ、アドバイスをお願いします。  
**松村** 私は「絶対にここへ行きた

い！」という思いが強く、一つの病院にしかエントリーしませんでした。面接が終わってから内定の連絡をいただくまで居ても立ってもいられないほど不安でした。精神的な余裕のためにも、いくつかの「選択肢」を作ったほうがいいと思います。

**中武** 私も志望先を決めるのが早く、部活動や勉強などで忙しかったこともあり、他院のことを調べる機会がほとんどありませんでした。インターシップという恵まれたチャンスがあるうちに、もう少し視野を広げておくべきだったと反省しています。フラットな目でいろいろな病院を比較検討できる、学生だけの特権を最大限に生かしてください。

**岩堀** コロナ禍の中、一人で黙々と勉強する日々は、かなりしんどいものでした。朝から晩まで机に向かう生活で、心の支えになったのは仲間の存在です。同じく保健師をめざす友人とオンラインでつながり、励まし合うことで心の平静を保てました。今後、就職活動の状況がどう変わっていくかわかりませんが、一緒に頑張る仲間が大切なことは変わらないと思います！

**Q** それぞれ希望に沿った道を歩み出す皆さんが、今後目標とする看護はどんなものですか？

**中武** 私は一つのことには継続して取り組むのが得意なタイプ。急性



こんなときだからこそ、仲間の大切さも実感できたな

例年以上に「就職活動は早めに！」がカギだったね

「想定外」の多い一年で、本当に大変だったよね



期医療を突き詰め、いずれはICUなど緊張感ある現場で活躍できればと考えています。また、アルバイトを通して教育のおもしろさを知ったので、ゆくゆくは実習生や新人看護師の育成にも携わりたいです。

松村 まずはしっかりと急性期看護の技術を身に付け、いつかDMAT（災害派遣医療チーム）の一員として信頼を得られる看護師になれたらと思います。自然災害が多い日本ですから、「有事に強い看護師」として貢献したいです。

岩堀 今の日本では、高齢化が進む一方、核家族化が進んで周囲の人とのつながりが減っています。地域医療の必要性が増している中で、地域で暮らす人たちのサポートに力を入れ、健康で幸せな毎日を支えられる保健師になりたいです。

| COLUMN | データで読む 先輩たちの就職活動

いつ見学会や  
インターンシップに参加しましたか

- 1位 2019年 8月 …… 36.6%
- 2位 2020年 3月 …… 26.1%
- 3位 2020年 2月 …… 20.6%
- 4位 2019年 3月以前 …… 15.2%
- 5位 2019年 7月 …… 12.3%

例年、全体の半数以上が参加する「3月」が減少(55.7→26.1%)。法人の動きの早期化により「前年夏(7～8月)」の参加率が上昇している。

参加した病院合同説明会の  
回数はいくつですか



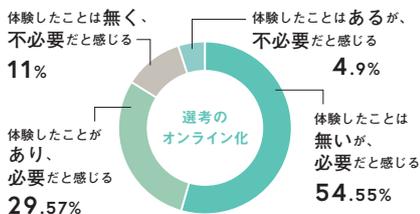
病院合同説明会に参加した数は2.2回と昨年の2.5回と比べ微減。コロナの影響がある中でも、機会を逃さず説明会に積極的に参加しているようだ。

就職活動において  
苦勞したことを教えてください

- 1位 病院選び …… 45.4%
- 2位 履歴書作成 …… 40.3%
- 3位 情報収集 …… 37.0%
- 4位 対面の面接 …… 28.0%
- 4位 小論文 …… 28.0%

コロナ禍で直接会う機会が減った影響か、最も苦勞したことは「病院選び」という結果に。今後はネットを通して得られる情報の重要性が一層高まるだろう。

WEBセミナー・WEB面接などの選考の  
オンライン化について当てはまるものは



84%の学生がWEBセミナー、WEB面接など、選考のオンライン化の必要性を感じている。オンライン化についてはポジティブな声が多いようだ。

WEBセミナーを  
視聴した病院の数はいくつですか



WEBセミナー視聴数が合同説明会参加の回数2.2回より多くなった。病院を比較するツールの一つとしてWEBセミナーを活用していると考えられる。

入職先の決め手になったものは  
何ですか

- 1位 勤務地 …… 50.6%
- 2位 給与・賞与 …… 30.1%
- 3位 病院の雰囲気 …… 29.0%
- 4位 研修・教育制度(臨床) …… 28.9%
- 5位 交通アクセス …… 23.7%

例年通り1位は「勤務地」。昨年4位の「給与・賞与」が2位に浮上。コロナ禍で労働環境が変化する中、生活に直結するお金を重視していることがうかがわれる。